

議案第181号

準用香椎川河川改修（地下河川）工事請負契約の一部変更について

上記の議案を提出する。

令和7年9月3日

福岡市長 高 島 宗 一 郎

理由

本件は、賃金水準及び物価水準の上昇並びにシールド工法による工事において使用する岩盤掘削用のローラーカッターを交換すること等に伴い、当該工事請負契約に係る契約価額及び工期を変更する必要があるが生じたので、議会の議決を求めるものである。

準用香椎川河川改修（地下河川）工事請負契約の一部変更について

議案第210号をもって令和4年12月21日に議会の議決を経た準用香椎川河川改修（地下河川）工事請負契約（議案第24号をもって令和6年2月22日に議会の議決を経て一部変更及び議案第167号をもって令和6年9月12日に議会の議決を経て一部変更）の一部を次のように変更する。

- |   |         |                      |
|---|---------|----------------------|
| 3 | 契 約 価 額 | 5,120,663,900円       |
|   |         | （元議決 4,735,106,200円） |
| 5 | 工 期     | 令和9年3月15日まで          |
|   |         | （元議決 令和8年3月13日まで）    |

( 議案第181号 )

準用香椎川河川改修(地下河川)工事請負契約の一部変更について

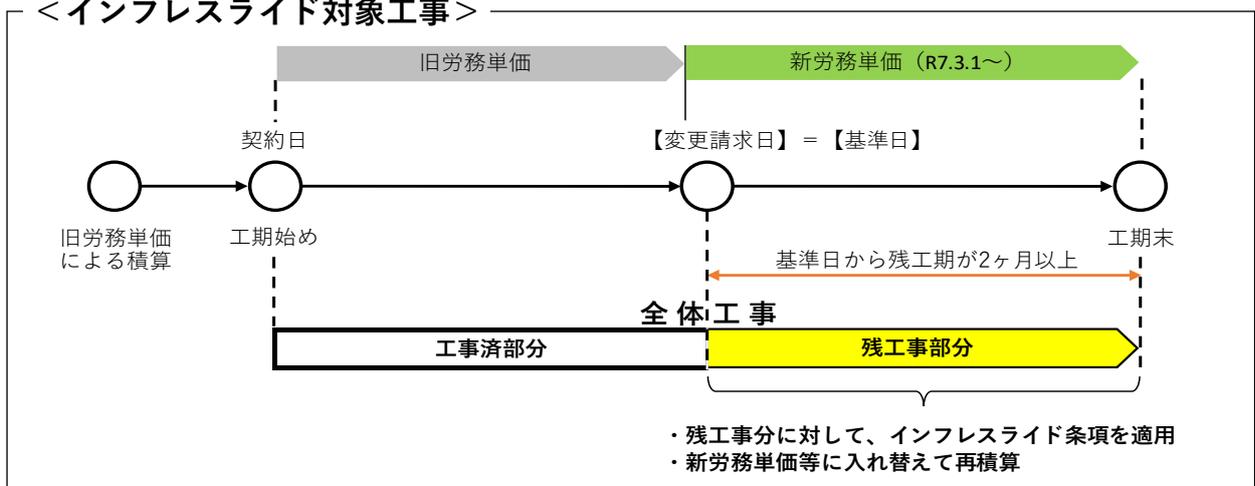
契約件名	準用香椎川河川改修(地下河川)工事
理由	本件は、賃金水準及び物価水準の上昇並びにシールド工法による工事において使用する岩盤掘削用のローラーカッターを交換すること等に伴い、当該工事請負契約に係る契約価額及び工期を変更する必要が生じたので、議会の議決を求めるものである。
契約	令和4年12月21日
変更契約日	令和6年2月22日(第1回変更) 令和6年9月12日(第2回変更)
契約価額	変更価額 5,120,663,900円(465,514,900円) 元議決額 4,735,106,200円(430,464,200円) 増額 385,557,700円(35,050,700円) ※( )内は、うち取引に係る消費税及び地方消費税の額
工期	変更工期 令和4年12月22日から令和9年3月15日まで 元議決 令和4年12月22日から令和8年3月13日まで
<b>【参考：契約概要】</b>	
○契約の相手	前田建設工業・日本国土開発・羽野組・サンコービルド建設工事 共同企業体  代表者 東京都千代田区富士見二丁目10番2号 前田建設工業株式会社 東京都港区赤坂四丁目9番9号 日本国土開発株式会社 福岡市中央区天神三丁目11番22号 株式会社 羽野組 福岡市博多区博多駅前一丁目31番17号 株式会社 サンコービルド
○工事概要	準用香椎川河川改修(地下河川)工事 管渠 <small>きよ</small> (内径4.5メートル) 延長 712.8メートル 流入施設工 一式 流出施設工 一式
○工事地	福岡市東区香椎駅前一丁目ほか
○保証期間	受渡完了の日から2年間

## ■ インフレスライド条項について（建設工事請負契約書第 25 条第 6 項）

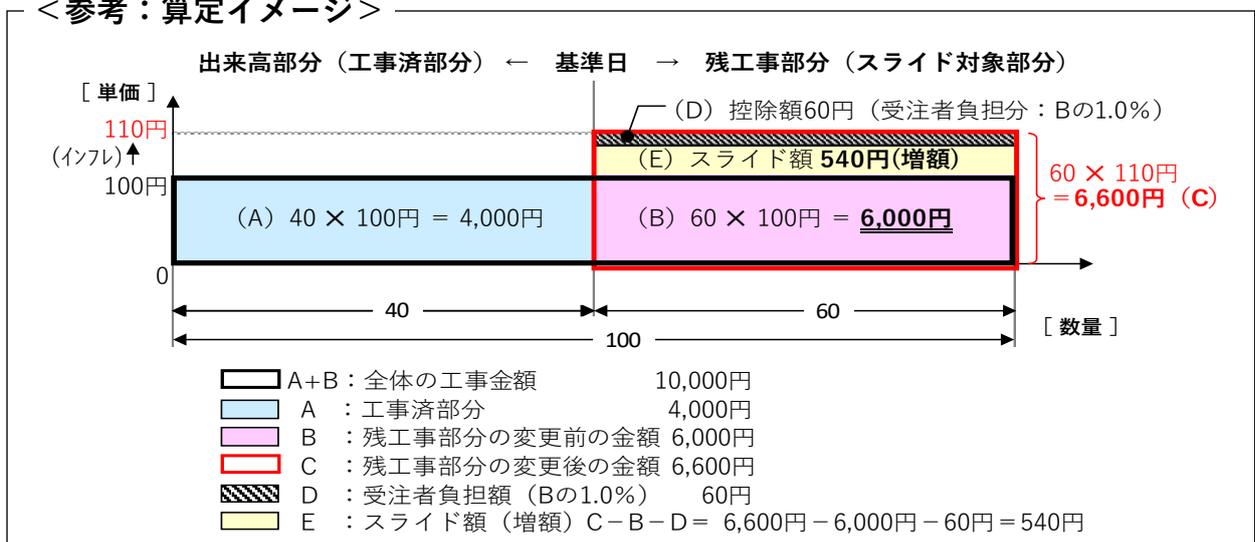
- 予期することができない特別の事情により、工期内に労務費や工事材料費等の価格が急激に変動し、請負代金額が不相当となった場合に、残工事分の請負代金額を変更できる規定。
- 今回、国からの適正な賃金水準の確保について通知（令和 7 年 2 月 17 日付）を受け、福岡市においても、インフレスライド条項の適用が決定され、財政局より関係部局に通知された。（令和 7 年 2 月 27 日付）
- 上記通知によるインフレスライドの対象工事は、令和 7 年 2 月 28 日以前に契約がなされた工事で、受注者による変更請求日（＝基準日）からの残工期が 2 ヶ月以上あるもの。  
 また、スライド額は、基準日以降における残工事部分の旧単価を、新労務単価等に入れ替えて再積算し、その金額から受注者の負担割合分\*（変更前の残工事金額の 100 分の 1）を控除した金額となる。

※ 国のマニュアルにおいて、工事請負契約書第 29 条「不可抗力による損害」に準拠するものとして定められた値。

### <インフレスライド対象工事>



### <参考：算定イメージ>

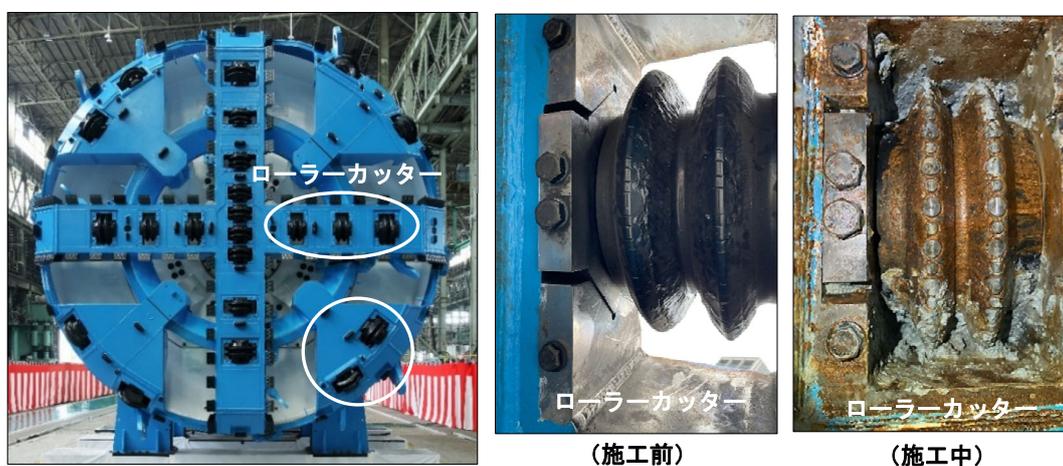


## ■ シールド工（ローラーカッター交換）の設計変更について

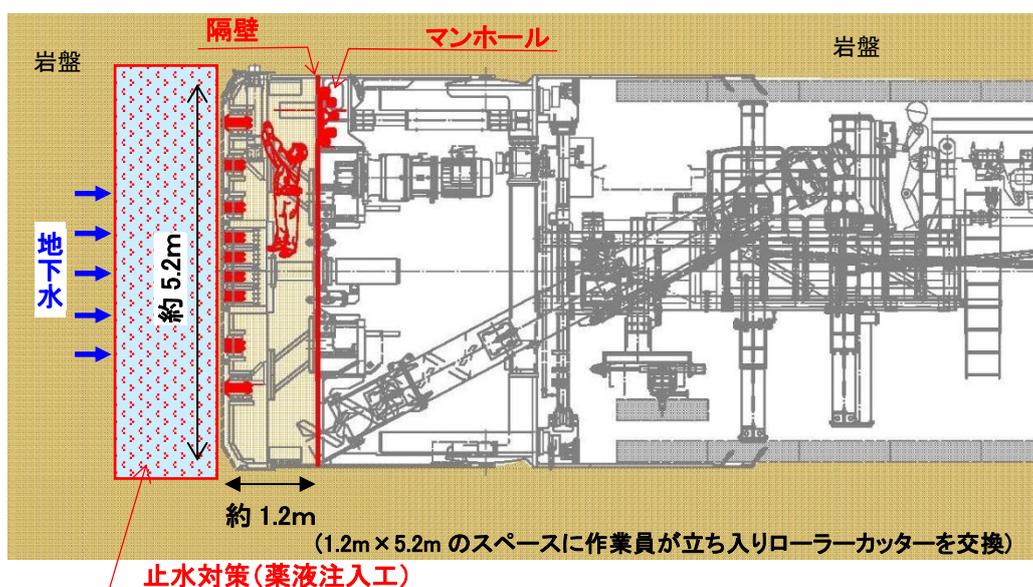
- 本工事のシールドマシンについては、地盤の土質調査の結果、ローラーカッター※の交換は不要と設計していた。しかしながら、想定以上に岩盤が硬く、設計値よりも著しくローラーカッターが摩耗しており、掘進延長 712.8 メートルのうち約 670 メートル地点で掘進不能となることが判明した。
- シールドマシンの内部からローラーカッターを交換し確実にシールド掘進を完了する。また、シールド掘進する地盤は亀裂が多く多量の地下水が湧出していることから、作業員の安全確保を図るため、薬液注入工等による止水対策を追加する。

※ 回転する円形の刃を持つカッターで主に岩盤を破碎する

### 【シールドマシン（ローラーカッター）】



### 【施工イメージ図】



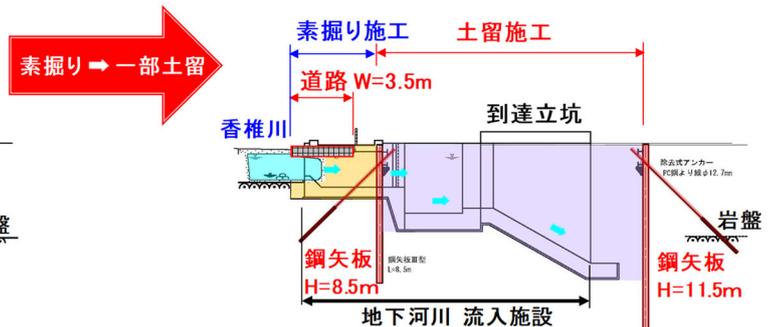
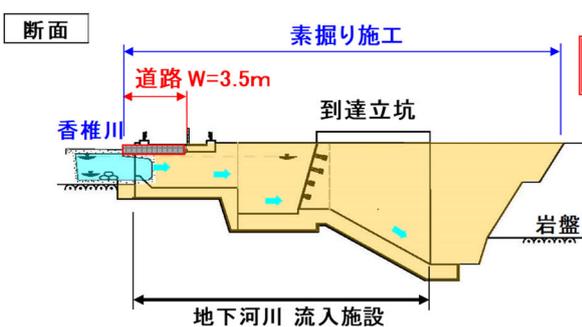
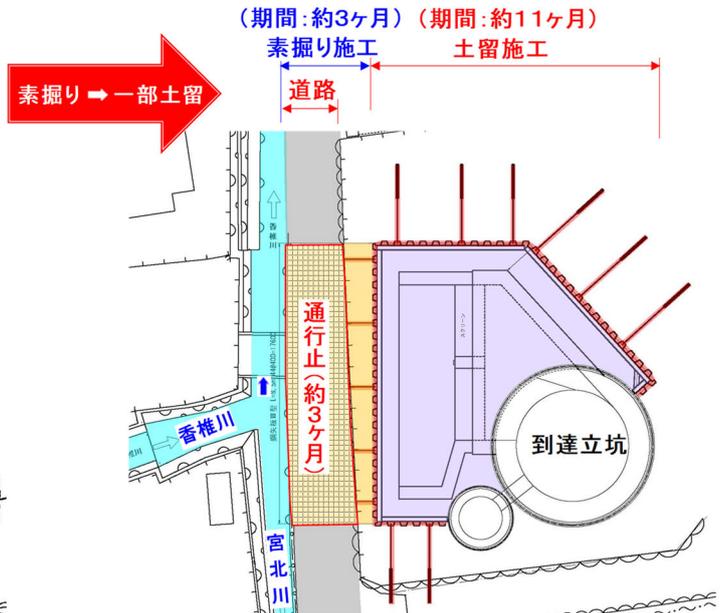
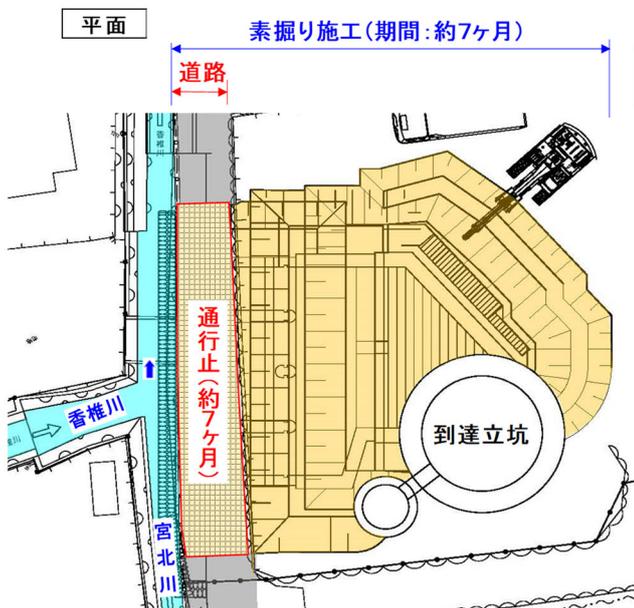
## ■ 流入施設工（施工方法）の設計変更について

- 本工事の流入施設工については、地域への事前説明を行いながら、経済性や工期が最も優位な施工方法となる素掘り施工にて設計していた。しかしながら、着工後、地域から車両通行止めする期間の短縮について見直しを求められている。
- 素掘り施工の場合、生活道路の車両通行止め期間が約7ヶ月となることから、車両通行止め期間を約3ヶ月に短縮するために、素掘り施工の一部を土留施工に変更する。

### 【生活道路の状況】



### 【施工イメージ図】



## ■ 工期の変更について

### ○ 工期

当初：令和4年12月22日から令和8年3月13日まで

変更：令和4年12月22日から令和9年3月15日まで

### ○ 内容

① 発進立坑の地下水出水に伴う止水対策について、令和6年9月議会において議決を受け工事に着手したところ、湧水量が非常に多く想定よりも止水対策に時間を要したことから、工期が約3ヶ月延びたもの。

② シールド工について、①止水対策によりシールド掘進の着手時期が遅れたことに加え、シールド掘進する岩盤が非常に硬く想定よりも進捗率に遅れが生じていること、またローラーカッターの交換作業が増工となることにより工期を約2ヶ月延ばすもの。

③ 流入施設の施工方法について、素掘り施工の一部を土留施工に変更することに伴い、施工の煩雑化や施工ステップの増加など施工手間が増工となることにより工期を約7ヶ月延ばすもの。

①から③の事由により、本工事の工期を約12ヶ月延長するもの。

### 【工程表】

【令和6年9月時の工程表】

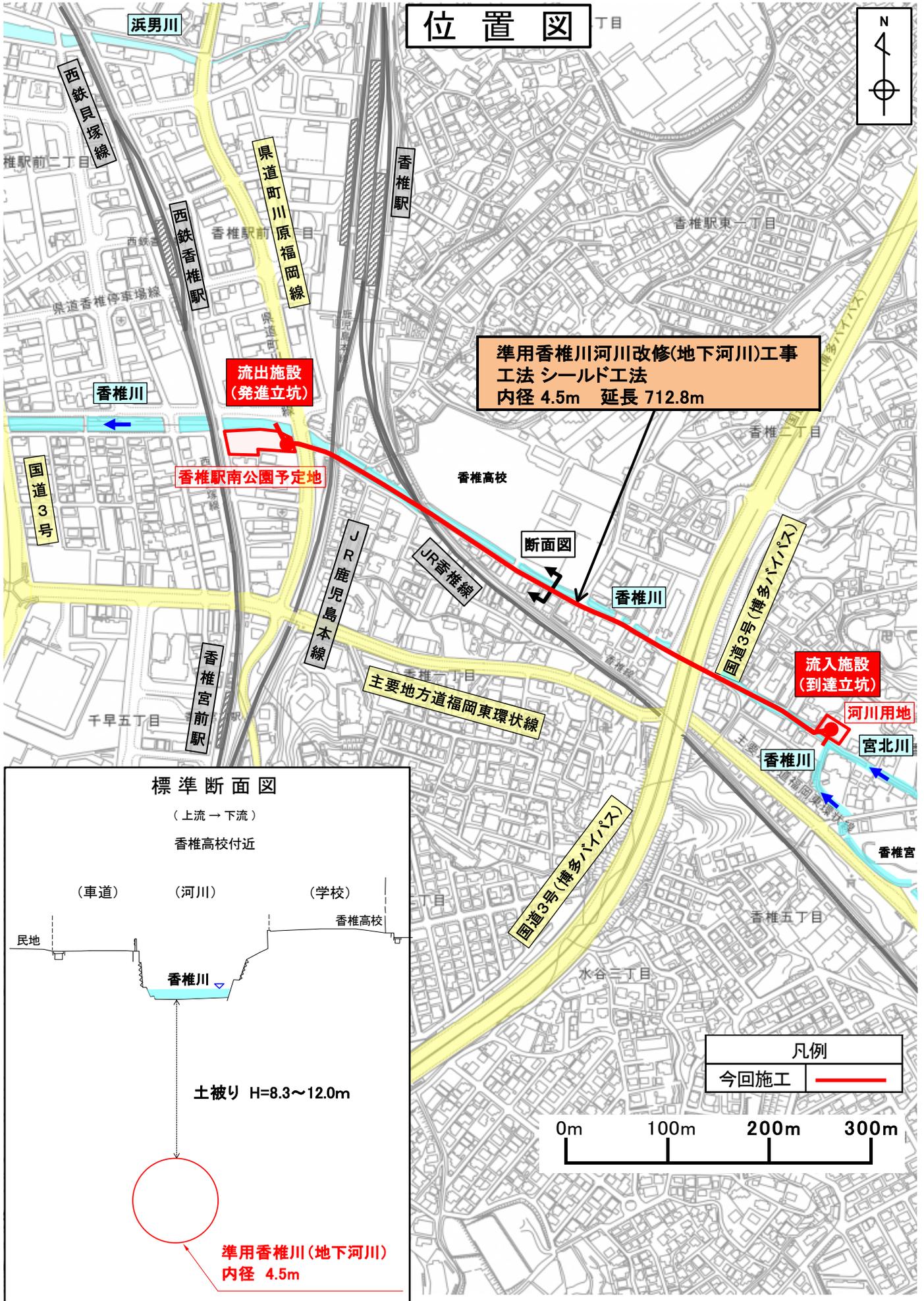
	令和4年度(2022)	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	令和7年度(2025)	令和8年度(2026)
準備工	← 調査、測量、設計 →				
発進立坑築造 (流出施設)		← 土留、防音ハウス設置、掘削、薬液注入 →		← 流出施設 →	
シールド工		← シールドマシン製作、セグメント製作 →		← シールド組立・掘進・解体等 →	
到達立坑築造 (流入施設)			← 土留、掘削、薬液注入 →	← 流入施設 →	

令和6年9月

【変更工程表】

	令和4年度(2022)	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	令和7年度(2025)	令和8年度(2026)
準備工	← 調査、測量、設計 →				
①発進立坑築造 (流出施設)		← 土留、防音ハウス設置、掘削、薬液注入 → <span style="color:red">+3ヶ月</span>		← 流出施設 →	
②シールド工		← シールドマシン製作、セグメント製作 →		← シールド組立・掘進・解体等 → <span style="color:red">+2ヶ月</span>	
③到達立坑築造 (流入施設)			← 土留、掘削、薬液注入 →	← 流入施設(土留部 ▶ 素掘り部 ▶ 河川部) → <span style="color:red">+7ヶ月</span>	

令和7年9月



# 準用香椎川河川改修（地下河川）工事の概要と進捗について

## 1 工事の概要

香椎地区の浸水対策を目的として、香椎川のバイパス水路（地下河川）をシールド工法にて整備するもの。

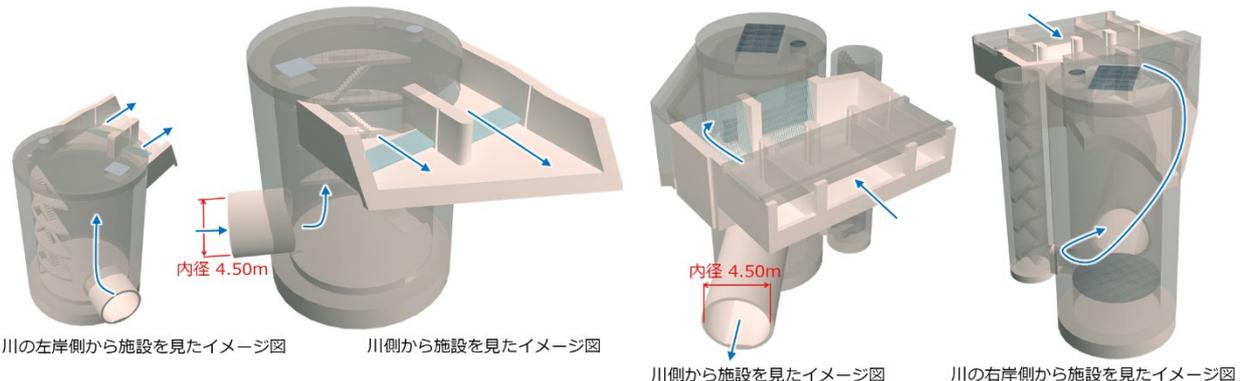
件名	準用香椎川河川改修（地下河川）工事
工事場所	福岡市東区香椎駅前一丁目、香椎四丁目地内外
工期	令和4年12月22日から令和8年3月13日まで（当初） 令和4年12月22日から令和9年3月15日まで（変更）
契約日	令和4年12月21日
契約の相手方（受注者）	前田建設工業・日本国土開発・羽野組・サンコービルド 建設工事共同企業体（4社）
工事概要	管渠（内径 4.5m）延長 712.8m、流入施設 1 箇所、流出施設 1 箇所

### ■ 準用香椎川河川改修（地下河川）工事 イメージ図



### ■ 流出施設（地下河川の水を河川へ排出する施設）

### ■ 流入施設（河川水を地下河川に流入させる施設）



凡例 → 水の流れる方向

## 2 契約価額 (消費税及び地方消費税相当額を含む)

- ・ 当初契約 (令和4年12月議会) 3,767,877,388 円
  - ・ 第1回変更 (令和6年2月議会) 4,183,213,100 円 ← (増額 415,335,712 円)
  - ・ 第2回変更 (令和6年9月議会) 4,735,106,200 円 ← (増額 551,893,100 円)
  - ・ 第3回変更 (令和7年9月議会) 5,120,663,900 円 ← (増額 385,557,700 円\*)
- ※ : インフレスライド額 11,668,800 円 / 設計変更額 373,888,900 円 (合計 1,352,786,512 円)

## 3 工事の進捗状況

本工事の契約締結後、準備工を経て発進立坑及び到達立坑を整備、令和7年1月にシールド掘進を開始し、流入施設及び流出施設の整備を進めている。

[令和7年度末までの進捗率 (見込み) : 全体工事費の約 76%]

### 【工事スケジュール】

	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)
準備工		← 調査、測量、設計 →			
発進立坑築造 (流出施設)		← 土留、防音ハウス設置、掘削、薬液注入 →			← 流出施設 →
シールド工		← シールドマシン製作、セグメント製作 →		← シールド組立・掘進・解体等 →	
到達立坑築造 (流入施設)			← 土留、掘削、薬液注入 →		← 流入施設 (土留部→素掘り部→河川部) →

現在

### 【施工状況】

